

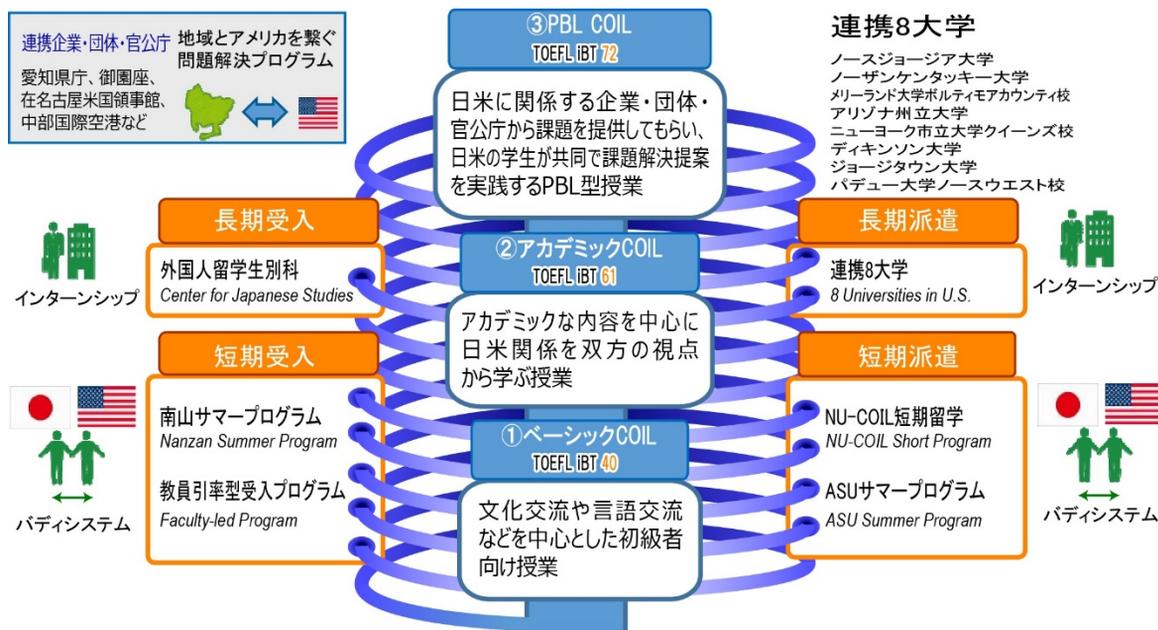
大学の世界展開力強化事業(2018年度選定) 南山大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2018年度・(タイプA))

日米をつなぐNU⁴-COIL² ～地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム～

【交流推進事業の概要】

本事業は米国との学生交流で我が国を牽引してきた実績をもとに、日米双方向型のCOIL型授業を通じて、人的ネットワークの形成・拡大・活性化を促し、日米間のみならず世界が直面する問題を能動的に解決する人材を育成すると同時に本事業を日米両国の他大学へも展開する。



【交流プログラムの概要】

①短期留学(派遣・受入)とベーシックCOILの連動プログラム

ベーシックCOIL科目はオンライン上での文化交流や簡単な意見交換を行うもので、これを受講したうえで短期留学に参加することで、相互受入の際に互いがバディとなって支援を行い、COIL型授業と留学との有機的な教育連携効果を生み出す。

②長期留学(派遣・受入)とアカデミックCOILの連動プログラム

アカデミックCOIL科目は日米間の政治、経済、文化などの専門科目をCOIL型授業で学習するもので、これを受講し長期留学に出る。これにより留学先での言語や研究の障壁をなくし、文化背景の違うもの同士の協働に必要なスキルを修得する。

③地元愛知県の産官学連携によるインターンシップとPBL COILの連動プログラム

PBL COIL (Project Based Learning COIL) 科目は長期留学後の実践的なCOIL型授業に位置付けられる。米国と経済や文化で密接に関わる愛知県に所在する企業、団体、官公庁から日米に関わるビジネス・行政上の課題を提供してもらう。その課題に対して日米の学生がCOIL型授業を通じてリサーチや議論、提案を行う。あわせて企業等でインターンを実施する。

【本事業で養成する人材像】

日米関係の発展に寄与する人材が備えるべき資質を、①【多文化共生力】現代の日米関係の表層的な部分だけでなく、日米の歴史的背景や宗教観を含む文化的背景を十分に理解していること、②【学際的国際力】様々な学問分野から国・地域を超えて発生するグローバルな問題を複眼的に理解し、議論できること、③【問題発見・解決力】学際的国際力を用いながら、異なる文化背景を持つ人々と協働して問題の所在を発見しそれを解決できることの3つとし、これらの能力を備える人材を養成する。

【本事業の特徴】

- ・愛知県の企業、団体、官公庁と連携し、本学および米国連携校とのニーズを合わせたテイラーメイド型の教育プログラム
- ・本学と米国連携校との間で開始する本事業を日米両国の他大学へも展開し、両国全体の連携強化に発展させる

【交流予定人数】

	2018	2019	2020	2021	2022
本事業におけるCOIL型教育の受講者数(日本人学生)	20	260	340	420	480
本事業におけるCOIL型教育の受講者数(外国人学生)	15	195	255	315	360
学生の派遣	16	100	107	109	110
学生の受入	6	27	41	35	44